

令和7年6月3日(火)

「6年生 道徳科」

6年生では、総合的な学習の時間で「いちのみや まちづくりプロジェクト2025」に取り組んでいます。本日は、道徳科の学習で「まちづくりのアイデアを考えるときに大切なこと」について、考えました。



～児童の振り返りを一部抜粋して紹介～

- ・地域の人に聞いたり、学校の人に聞いたりできるかもしれない。
- ・町の文化を調べてみる。
- ・意見を聞いて、町をよくしたい。
- ・東浪見をもっと知って、プロジェクトを進める。
- ・宣伝して、有名にする。
- ・町の特長を調べたり、町のよさを見つけたりしたい。
- ・一宮のことをもっと知り、宣伝する
- ・町の情報を知り、特長を生かす。
- ・大切なことも考えながら調べる。
- ・情報を知り、みんなに勧める。
- ・町おこしをもっと進めたい。
- ・みんなにいろいろなことを聞く。
- ・祭りで東浪見を有名にしたい。
- ・一宮の特長を活かし、今の一宮町よりもよい町づくりプロジェクトを考えたい。
- ・地元の人や、長年住んでいる人、また引っ越してきた人や学校の先生に聞いてみるとよいと思う。
- ・都内のような活気あふれる町にしたい。
- ・一宮町を知る必要がある。
- ・楽しさだけでなく、環境も考える必要もあると思う。
- ・地域の人に意見を聞く。
- ・地域の人や、クラスの友達と話し合ってもっと東浪見のよいところを広める。
- ・地域の方に聞いたり、自分たちで調べたりして、町の特長を活かしたプロジェクトをつくるのが大切。

12日(木)には、町学芸員の方をお招きし、町の歴史について教えていただく予定です。